

大田区自然観察路「海と埋立地のみち」の
生物・植物についての区民協働調査
および
『ブルートライアングルプロジェクト』
アゲハチョウ調査

実施報告書

2016年3月

大田区

〈 報告内容 〉

1. 調査実施概要

- 1. 1 調査名称
- 1. 2 調査目的
- 1. 3 調査地域
- 1. 4 調査項目
- 1. 5 調査期間
- 1. 6 調査方法
- 1. 7 調査員

2. 調査結果

- 2. 1 「海と埋立地のみち」と「ブルートライアングルプロジェクト」 調査コース、ポイントについて
- 2. 2 調査コース、ポイント概要
- 2. 3 「海と埋立地のみち」調査結果
 - 2. 3. 1 「海と埋立地のみち」調査 <植物・樹木>
 - 2. 3. 2 「海と埋立地のみち」調査 <野鳥>
 - 2. 3. 3 「海と埋立地のみち」調査 <その他>
 - 2. 3. 4 「海と埋立地のみち」の生物・植物について
- 2. 4 「ブルートライアングルプロジェクト」調査結果

2. 4. 1 「ブルートライアングルプロジェクト」調査

<調査ポイント別調査結果>

2. 4. 2 「ブルートライアングルプロジェクト」調査

<定点調査結果>

2. 5 協働調査 調査結果

1. 調査実施概要

1. 1 調査名称

大田区自然観察路「海と埋立地のみち」の生物・植物の区民協働調査

1. 2 調査目的

自然観察路「海と埋立地のみち」は、大田区が面する東京湾と京浜島などの埋立地に生息する生き物や水辺の鳥を観察するコースであり、大田区ならではの特色のある自然環境が存在する。この調査では、自然観察路を中心とした生物相の状況を把握し、区民等が自然観察を行う際の資料として提供するだけでなく、今後区民と協働して行う自然環境および環境保全施策の基礎として利用することを目的とする。

あわせて、観察路を含む周辺地域でアゲハチョウ類の調査を実施し、2020年オリンピック・パラリンピック実施に向けた観光の視点からまちづくりを進める際の基礎資料とする。本プロジェクトでは、アゲハチョウの仲間に身近に触れ合える自然環境づくりを進め、おもてなしのまちづくりに取り組む。そして、本調査を区民と協働で実施することにより、区民に大田区の環境に関心を持ってもらい、生物多様性の理解促進を図ることを目的とする。

1. 3 調査地域

- ・大田区自然観察路「海と埋立地のみち」

東京港野鳥公園から京浜島の「京浜島緑道公園」を通り、森ヶ崎の鼻をめぐる約3.5kmのコースおよびその周辺地域

さらにアゲハチョウ類の調査に関して次の7ポイントを定める

- ・大森南圃場（大森南4-3）および周辺
- ・平和の森公園（平和の森公園2-1）
- ・大田スタジアム（東海1-2-10）周辺
- ・東京港野鳥公園（東海3-1）
- ・都立昭和島北緑道公園（昭和島2-3）
- ・大森ふるさとの浜辺公園（ふるさとの浜辺公園1-1）
- ・あさひ海老取川公園（羽田旭町11-1）

1. 4 調査項目

- (1) 植物
- (2) 昆虫類
- (3) 鳥類
- (4) 哺乳類・爬虫類・両生類・陸産貝類

1. 5 調査期間

2015年5月20日～2016年3月18日
期間内に本調査および区民参加による協働調査を実施

1. 6 調査方法

本調査

調査地域内で確認された個体について数、種類を記録する。ただし、識別不能な個体については可能な範囲で記録をとる。

確認した生物、植物および調査場所の環境をデジタルカメラで写真撮影し記録する。

自然観察路内の案内板、解説板の現状を確認、記録し、現在の環境に即した案内板、解説板の検討を行う。

協働調査

調査内容、方法について検討し、参加する区民に対して調査方法、識別方法の説明を行い、本調査に準じた区民参加の調査を行う。

定点調査

「平和の森公園」、「大森南圃場」について、アゲハチョウ類の確認調査を5月から10月に実施し、可能な範囲で記録をする。

1. 7 調査員

専門調査員 4名

- ・主に野鳥を担当

川沢祥三

大塚 豊

- ・主に樹木・植物を担当

鈴木百合子

- ・自然観察路の季節変化、利用者、看板の状況等を担当

小野紀之

区民参加調査員

5月20日 大森第四小学校4年生95名、引率4名

(大森ふるさとの浜辺公園)

7月12日 区民 20名

(大森ふるさとの浜辺公園および平和の森公園)

9月27日 区民 24名

(平和の森公園)

定点調査

特定非営利活動法人 大田・花とみどりのまちづくり

2. 調査結果

本調査は、「海と埋立地のみち」については、植物・樹木、野鳥、アゲハチョウ類、そしてその他の生き物について行った。野鳥は専門の調査員によって5回、植物・樹木は5回実施した。アゲハチョウ類、その他の生き物について、それぞれの専門調査の際に確認できたものについて記録した。また、自然観察路の季節変化や使用状況把握のための調査を3回実施し、その際にも確認された生き物を記録した。アゲハチョウ類の調査7ポイントについては、それぞれ7回実施した。

協働調査は、一般区民の参加によるため、本調査の調査地域の中から大森ふるさとの浜辺公園と平和の森公園を調査地域とした。加えて調査開始時点の5月20日、大森第四小学校4年生の授業において大森ふるさとの浜辺公園での協働調査を行った。調査対象については直接観察、確認した身近な生き物とした。

ほかに大森南圃場、平和の森公園は、アゲハチョウ類の定点調査を実施した。

2. 1 「海と埋立地のみち」と「ブルートライアングル

プロジェクト」調査コース、ポイントについて

「海と埋立地のみち」

「大田区の自然観察路」の一つで、東京港野鳥公園前から京浜大橋を渡り、京浜島の京浜島緑道公園を経て、京浜島つばさ公園に至る約3.5キロメートルのコース。

アゲハチョウ類調査ポイント

「東京港野鳥公園」

管理事務所からネイチャーセンターまでおよび自然生態園内を調査。

「大田スタジアム周辺」

スタジアム駐車場入り口車止めあたりから「せせらぎの森」フェンス沿いにスタジアム後方までを調査。

「平和の森公園」

噴水から平和の広場の外周をめぐり、みどりの縁側を経てブランコ等の遊具がある付近までを調査。定点調査も実施。

「大森ふるさとの浜辺公園」

浜辺橋から貴船水門までの公園内を調査。

「都立昭和島北緑道公園」

首都高速道路高架下から北側部分の公園内を調査。

「大森南圃場および周辺」

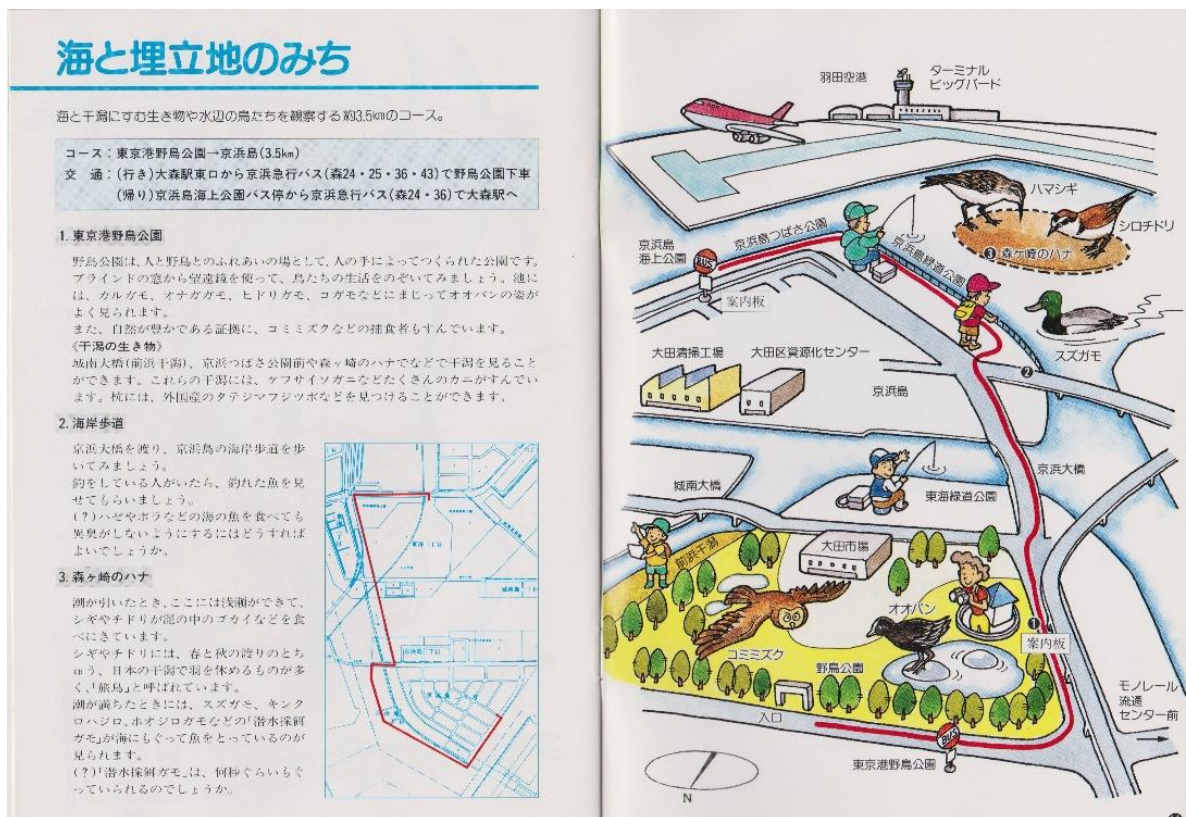
大森南圃場内および森ヶ崎海岸公園を調査。大森南圃場については定点調査も実施。

「あさひ海老取川公園」

環状八号線穴守橋から海老取川沿いの歩道および公園内を調査。

2. 2 調査コース、ポイント概要

①「海と埋立地のみち」



大田区では平成7年3月発行のパンフレット「大田区の自然観察路」で区内に5ルートの自然観察路の紹介を行っている。その一つである「海と埋立地のみち」は、東京港野鳥公園前から京浜大橋を渡り、京浜島の京浜島緑道公園を経て、京浜島つばさ公園に至る約3.5キロメートルのコースである。東京港野鳥公園バス停から京浜大橋までは野鳥公園のフェンスと首都高速羽田線が中央にある道路に挟まれた歩道で観察路というよりは、京浜島部分への連絡路に過ぎない。

京浜島緑道公園の海岸に沿った遊歩道は、対岸に森ヶ崎水再生センター、森ヶ崎の鼻があり、初夏から夏にかけてはコアジサシ、冬には多くの種類のカモ、カモメなどが見られる。また1年を通じてカワウ、カルガモなどもいて野鳥観察に適した観察路でもある。樹木は、埋め立て造成の際に植えられた耐潮性のあるクスノキ、マテバシイなど常緑樹が多い。

調査結果集計にあたっては、東京港野鳥公園入口前から京浜大橋南端までの湾岸道路沿いの部分を「**東海地区湾岸道路**」、京浜島緑道入口から京浜島つばさ公園、京浜島海上公園バス停前までの部分を「**京浜島海岸歩道**」として集計した。

②「東京港野鳥公園」

管理事務所からネイチャーセンターまでの園路は、芝生広場、いそしぎ橋の開放部分、そして東観察広場を経由する部分は両側を樹木に覆われていて、多様な景観を持っている。また、自然生態園には田んぼや畑、雑木林が配置されている。これら2か所を調査対象地とした。週末には公園指導員による野鳥や植物、干潟の生き物の観察などが行われている。

③「大田スタジアム周辺」

大田スタジアム、せせらぎの森は、東京都が管理する大井ふ頭中央海浜公園内にあり、北側にはくすのき広場が隣接している。せせらぎの森そのものは今回の調査対象地からははずれるが、周囲を囲むフェンスにはヤブカラシ、クズなどが繁茂し、吸蜜するチョウ類の集まる場所になっている。

④「平和の森公園」

平和の森公園全体のうちの環状7号線北側、さらにその北側、噴水から平和の広場の外周をめぐる、みどりの縁側を経てブランコ等の遊具がある付近までを調査対象地とした。クスノキなどの常緑樹、コナラなどの落葉樹があり、外周部分には生垣の見本園がある。

⑤「大森ふるさとの浜辺公園」

大森海苔のふるさと館前のふるさとの広場部分を除く浜辺橋から貴船水門までの公園内を調査対象地とした。400メートルの白い砂浜がこの公園の自慢で、砂遊びや磯遊び、干潮時にはふるさと館職員による自然観察なども行われている。全体が緩やかな芝生で西側道路沿いのクスノキ並木には約270本が植えられている。

⑥「都立昭和島北緑道公園」

首都高速道路高架下から北側部分の公園内が調査対象地であるが、そのほかの大部分はアスファルト舗装されていてテニスの練習やローラースケートに利用されている。芝生の広場周辺には、大きなクスノキ、クロマツ、ケヤキなどが植えられている。

⑦「大森南圃場および周辺」

大森南圃場内には柑橘類が多く、花苗も育てられていて、チョウ類が多い。また、森ヶ崎海岸公園の緑道にはクスノキもあるが、京浜運河と建物にはさまれた狭い遊歩道で植え込みに園芸植物がある程度のアスファルト舗装の遊歩道。

⑧「あさひ海老取川公園」

環状八号線穴守橋から海老取川沿いの歩道およびあさひ海老取川公園を調査対象地とした。公園遊歩道にはヤマモモ並木があり、公園中央に芝生の広場がある。クスノキはない。

2. 3 「海と埋立地のみち」調査結果

今回の「海と埋立地のみち」調査では、この自然観察路のもつ環境の特徴から、東京港野鳥公園入口前から京浜大橋南端の湾岸道路に沿った部分を「東海地区湾岸道路」コース、京浜島の京浜島緑道公園入口から京浜島つばさ公園途中、京浜島海上公園バス停前までの部分を「京浜島海岸歩道」コースとし、この二つに分けて調査結果の集計を行った。「東海地区湾岸道路」は、トラックなど交通量の多い道路に沿った歩道と京浜島にわたる橋で、橋上からは運河の野鳥が観察できる。「京浜島海岸歩道」は、運河に沿った遊歩道で埋め立ての時に植えられた樹木を中心に、多くの植物が自生している。陸側樹林帯には野鳥、昆虫が生息し、運河には多くの野鳥が観察できる。

調査は、野鳥、植物の専門家がそれぞれの専門分野の調査を行うとともに、同時に目視、確認された昆虫、その他の生き物について記録をした。専門調査は、各コース5回以上、延べ17日間実施した（表2. 3）。

2. 3. 1 「海と埋立地のみち」調査 <植物・樹木>

本調査の樹木については、全コースをいくつかに分けて、それぞれの部分を順次集中的に調査した。また、植物については、可能な限り見つけ次第記録したが、そのほか開花時期や結実の時に改めてその種類の記録をとった。

写真2. 3. 1 大田区自然観察路「海と埋立地のみち」の樹木、植物



左：マテバシイ
下：カイコウズ



表2.3 2015年度 大田区「海と埋立地のみち」調査 調査実施日一覧

調査月	5月		6月		7月			8月		
	28日	31日	16日	18日	12日	18日	25日	15日	23日	27日
調査日	晴	晴	曇	曇・晴	曇・晴	曇・晴	曇	晴	晴	晴
調査員	小野	鈴木	川沢/大塚	川沢/大塚	鈴木	川沢/大塚	鈴木	小野	鈴木	鈴木
野鳥公園～京浜大橋南	○	○	○	○	○	○		○		○
京浜島緑道公園	○	○	○	○		○	○	○	○	

調査月	9月		10月		11月			1月		
	19日	24日	19日	21日	24日	21日	25日	28日	28日	28日
調査日	晴	晴	晴	晴	曇・晴	晴・曇	晴	晴	晴	晴
調査員	川沢/大塚	小野	鈴木	鈴木	川沢/大塚	川沢/大塚	鈴木	鈴木	鈴木	鈴木
野鳥公園～京浜大橋南	○	○		○	○	○			○	
京浜島緑道公園	○	○	○		○	○	○	○	○	



グミ



ハマオモト



キョウチクトウ



ツバキ



オオイヌノフグリ



マテバシイ (どんぐり)



フジ



ビロウドモウズイカ

表2.3.1-1 2015年度 大田区「海と埋立地のみち」樹木・植物調査 集計表

東海地区湾岸道路 <樹木>						
調査月	5月	7月	8月	11月	1月	備考
調査日	31日	12日	27日	21日	25日	
天候	晴	曇・晴	晴	晴	晴	
調査員	鈴木	鈴木	鈴木	鈴木	鈴木	
アカシア						
アカメガシワ	幼樹					
アキグミ				花		
アキニレ				実生		
アジサイ						
イイギリ				赤い実		
イスノキ						
ウバメガシ			実生幼木			歩道植え込み
エノキ			実	実生		
エンジュ						
オオムラサキツツジ			実生幼木			歩道植え込み
キリ						
クサギ				実生		
クスノキ						
グミ						
クロガネモチ						街路樹
クワ						
コクサギ						
コブシ						街路樹
サザンカ				花		
サツキ						
シダレヤナギ						街路樹
シュロ						
スダジイ						
タブノキ						
ツクバネウツギ(アベリア)						
ツツジ						
トウカエデ				実生		
ドウダンツツジ						
トウネズミモチ		花・実				水際に多数
ヌルデ						
ノイバラ						
ハルニレ						
ホルトノキ				青実		街路樹
マテバシイ	花	青実				
ムクゲ						
ムクノキ				実		
モッコク						
ヤツデ						
ヤマブキ						
ヤマモモ						街路樹
ユズリハ				実生		
確認種数	42種					

表2.3.1-2 2015年度 大田区「海と埋立地のみち」樹木・植物調査 集計表

東海地区沿岸道路 <植 物>						
調査月	5月	7月	8月	11月	1月	備考
調査日	31日	12日	27日	21日	28日	
天候	晴	曇・晴	晴	晴	晴	
調査員	鈴木	鈴木	鈴木	鈴木	鈴木	
アズマネザサ						
アメリカオニアザミ						
アメリカヒレアザミ						
アレチハナガサ						
イヌタデ						
イノコズチ						
ウラジロチチコグサ						
エノコログサ						
オオアレチノグサ						
オオイヌノフグリ						
オオバコ						
オオマツヨイグサ						
オギ						
オシロイバナ						
オニノゲシ						
オランダミミナグサ						
カエデコロ						
ガガイモ						
カタバミ						
カラスウリ						
カラスノエンドウ						
ギシギシ						
クズ						
コセンダングサ						
コニシキソウ						
ササ						
シマスズメノヒエ						
ススキ						
セイタカアワダチソウ						外来種
セイバンモロコシ						
セイヨウタンポポ						
センダングサ						
タデ				花		
チガヤ						
ツユクサ				花		
ドクダミ						
ノボロギク						
ハコベ						
ハルジオン						
ハルノゲシ						
ヒメオドリコソウ						
ヒメジオン					花	
ヒメマツヨイグサ						
ヒメムカシヨモギ						
ヒルガオ						
ヒロウドモウズイカ			種あり			
ヘクソカズラ			青実			
ヘラオオバコ						
ホトケノザ						
ミチタネツケバナ						
マツヨイグサ				花		
ヤブカラシ						
ヤブタビラコ						
ヤマイモ				ムカゴあり		
ユウゲシヨウ						
ヨシ						
ヨモギ						
ワルナスビ						
確認種数	58種					

表2. 3. 1-3 2015年度 大田区「海と埋立地のみち」樹木・植物調査 集計表

京浜島海岸歩道 <樹木>						
調査月	5月	7月	8月	11月	1月	備考
調査日	31日	25日	23日	19日	25日	
天候	晴	曇	晴	晴	晴	
調査員	鈴木	鈴木	鈴木	鈴木	鈴木	
アオキ						
アカシア						
アカメガシワ						
アキニレ						
アジサイ						
アラカシ			幼実			
イスノキ			ムシコブ			
イチヨウ						
イヌビワ		実	実			
イヌマキ		実				
ウバメガシ						
エノキ		実	落実			
オオムラサキツツジ						
カイクウズ		花	赤花			
カイズカイブキ						
ガクアジサイ						
カクレミノ						
キョウチクトウ		花				
クスノキ		実			大樹あり	
グミノキ						
クロガネモチ						
クロマツ						
クワ						
ゲッケイジュ						
コウヤマキ		実	実			
サクラ						
サザンカ						
サツキ						
サルスベリ		花	白花			
サンゴジュ						
シャリンバイ			実		実	
シュロ						
シロダモ		実	青実	花・赤い実		
スダジイ		実	実			
タブノキ		実			8月:虫が実を食いつくす	
タラヨウ				赤い実		
ツクバネウツギ(アベリア)						
ツバキ		実	青実	花		
ドウダンツツジ						
トウネズミモチ		花・実				
トベラ						
ナナカマド						
ニセアカシア						
ニワウルシ		翼果				
ネムノキ						
ハゼノキ						
ハマヒサカキ		虫食い				
ハマビワ				実生多数	青実	
ハルニレ						
ヒイラギモクセイ						
ヒバ						
ヒラカンサ						
フジ						
ベニカナメモチ						
ホルトノキ		花	青実			
マサキ						
マテバシイ			青実			
マユミ						
マルバニッケイ				黒い実		
モチノキ						
モッコク						
ヤエザクラ						
ヤツデ						
ヤブニッケイ						
ヤマモモ			実			
ユキヤナギ						
レンギョウ						
確認種数	67種					

表2.3.1-4 2015年度 大田区「海と埋立地のみち」樹木・植物調査 集計表

京浜島海岸歩道 <植 物>						
調査月	5月	7月	8月	11月	1月	備考
調査日	31日	25日	23日	19日	25日	
天候	晴	曇	晴	晴	晴	
調査員	鈴木	鈴木	鈴木	鈴木	鈴木	
アカツメクサ						
アシタバ						
アズマネザサ						
アメリカオニアザミ						
アメリカセンダングサ						
イヌホウズキ					実	
イノコズチ						
ウラジロチチゴサ						
エノキグサ						
エノコログサ						
オオイヌフグリ					花	
オオハコ						
オギ				穂		
オギザリス					黄花 園芸種	
オンロイバナ						
オニノゲシ						
オヒシバ						
カタバミ						
カモガヤ						
カヤツリグサ						
カラスウリ						
カラスノエンドウ				幼苗		
カラムシ						
ギシギシ						
キンエノコログサ						
クズ						
クローバー						
コセンダングサ						
コニシキソウ						
コマツヨイグサ						
ササ						
ジシバリ						
シマスズメノヒエ						
スイセン						
スギナ						
ススキ			穂			
スズメノヒエ						
セイタカアワダチソウ					外来種	
セイバンモロコシ						
セイヨウタンポポ				花	外来種	
タデ						
チガヤ						
チカラシバ				穂		
チチゴサモドキ						
チドメグサ					外来種	
ツタ(アイビー)						
ツユクサ						
ツワブキ				花		
ドクダミ						
ノビル						
ハマダイコン						
ハマオモト(ハマユウ)			実	実		
ハルジオン						
ハルノゲシ						
ヒガンバナ				花	葉群生	
ヒメオドリコソウ						
ヒルガオ						
ヒレアザミ						
ヒンジガヤツリ						
フキ						
ヘクソカズラ						
ヘラオオハコ						
ホソバギシギシ						
ホトケノザ						
ムラサキカタバミ				ピンク花	園芸種	
メヒシバ						
ヤブカラシ			花			
ヤブタバコ						
ヤブマオ						
ヤブラン						
ユウゲシヨウ						
ヨシ			穂	穂		
ヨモギ						
ワルナスビ						
確認種数	74種					

「東海地区湾岸道路」では、樹木42種、植物58種が確認された。樹木は基本的にシダレヤナギ、ホルトノキ、オオムラサキツツジなど街路樹や植え込みの7種に加え、ほか35種が確認された。植物はヘクソカズラ、ヤブカラシなどフェンスに絡んだり、植え込みの周囲に繁茂しているヘラオオバコ、ヨモギ、そして外来種のセイタカアワダチソウなどが確認された。樹木の花は、アキグミ、サザンカ、トウネズミモチ、マテバシイなどがみられ、実はイイギリ、エノキ、トウネズミモチ、ホルトノキ、ムクノキ、そしてマテバシイのどんぐりなどが確認された。また、植え込みの中には実生による幼木もあった。植物は湾岸道路全体に生育していたが、セイタカアワダチソウは開花の季節になると、その黄色い花がよく目立った。この地域ならではの貴重な植物はないが、歩道沿いに調査観察してみると、多くの種類の植物を観察することができた。

「京浜島海岸歩道」では、樹木67種、植物74種が確認された。ここは海と陸側樹林帯に挟まれた観察路で、樹木は所々にクスノキ、タブノキなどの大木も残っている。また、途中には休憩場を兼ねた藤棚や展望台もありベンチが設けられている。この周りには海岸にふさわしくクロマツが植えられている。植物は、自然観察路の中ではやはり京浜島緑道部分に多くみられ、京浜島つばさ公園は芝生とクロマツが並木として植えられているため、あまり多くの種類の植物はない。京浜島緑道の樹林帯にはある種の植物がまとまって生育している場所があり、ハマオモト（ハマユウ）の白、キョウチクトウのピンク、ヒガンバナの赤、そしてツワブキの黄色など季節の変化とともに花を楽しむことができる。

2. 3. 2 「海と埋立地のみち」調査 <野鳥>

今回の調査では、専門調査員がコース全体を歩いて、確認された野鳥を識別、数をカウントし記録した。専門調査員以外でも調査の際に観察された野鳥を記録し、カウントをした。

写真 2. 3. 2 大田区自然観察路「海と埋立地のみち」で確認された野鳥



キジバト



シジュウカラ



モズ



オナガ



コアジサシ



ユリカモメ



ハヤブサ



カワウ



オオバン



カンムリカイツブリ



アオサギ



イソシギ



カルガモ



コガモ

表2. 3. 2-1 2015年度 大田区「海と埋立地のみち」野鳥調査 集計表

東海地区海岸道路 <野鳥>															
調査月		5月		6月	7月		8月		9月	10月	11月		1月		備考
調査日		28日	31日	16日	12日	18日	15日	27日	19日	24日	21日	24日	21日	28日	
天候		晴	晴	曇	曇・晴	曇・晴	晴	晴	晴	晴	晴	曇・晴	晴・曇	晴	
調査員		小野	鈴木	川沢大塚	鈴木	川沢大塚	小野	鈴木	川沢大塚	小野	鈴木	川沢大塚	川沢大塚	鈴木	
ウ科	カワウ	1		5	○	6	1	○	50			4	4		
サギ科	ダイサギ					2									
	コサギ			3					1				1		
タカ科	トビ					1									
	ツミ								1						
カモ科	オカヨシガモ														
	カルガモ											5			
	キンクロハジロ													○	
	スズガモ													18	
クイナ科	オオバン											4	15		
シギ科	イソシギ								1				1		
カモメ科	ウミネコ					3	1		4						
	セグロカモメ											2	1		
	ユリカモメ								12				3		
	コアジサシ	3	○	5		2									
ハト科	キジバト								1		○		3		
ツバメ科	ツバメ			1	○	1									
セキレイ科	ハクセキレイ									1			1		
ヒヨドリ科	ヒヨドリ									8	○	48	45	○	
シジュウカラ科	シジュウカラ	2		3				○					3		
メジロ科	メジロ								2			6	4	○	
ハタオリドリ科	スズメ		○	11	○	7	3	○	4	2	○	31	17		
ムクドリ科	ムクドリ		○	18		11	5		3					○	
カラス科	ハシボソガラス	1													
	ハシブトガラス		○	6*	○	4		○	8		○	4	6	○	
その他	ドバト		○	6		1	2	○	26				19	○	
確認種数		4	5	9	4	10	5	5	12	3	4	8	15	6	

* 幼鳥 1含む

表2. 3. 2-2 2015年度 大田区「海と埋立地のみち」野鳥調査 集計表

京浜島海岸歩道 <野鳥>															
調査月	5月		6月	7月		8月		9月	10月	11月		1月		備考	
調査日	28日	31日	16日	18日	25日	15日	23日	19日	24日	19日	24日	21日	25日		
天候	晴	晴	曇	曇・晴	曇	晴	晴	晴	晴	晴	曇・晴	晴・曇	晴		
調査員	小野	鈴木	川沢大塚	川沢大塚	鈴木	小野	鈴木	川沢大塚	小野	鈴木	川沢大塚	川沢大塚	鈴木		
カイツブリ科	カンムリカイツブリ										9	24			
	ハジロカイツブリ										3	8			
ウ科	カワウ	10	○	75	307	○	337	○	908	135	○	97	32	○	
サギ科	アオサギ	1		7	17		8	○	20	12		23	7	○	
	ダイサギ			1	2		2		24	2		1			
	コサギ			9	4		1	○	6	2	○	4			
タカ科	ミサゴ								1			1	1		
	トビ								3				2		
ハヤブサ科	チョウゲンボウ								1			2			
	ハヤブサ												1		
カモ科	ヒドリガモ												6	○	
	オカヨシガモ									11			5		
	コガモ										○	217	215		
	マガモ											10	22		
	カルガモ	2		4	10				15	52		47	37		
	オナガガモ											3	23		
	ハシビロガモ											19	38		
	ホシハジロ									11		239	128	○	
	キンクロハジロ											98	60	○	
	スズガモ											51	259		
ウミアイサ												2			
クイナ科	オオバン										○*	196	85	○	*90羽以上の群れ
チドリ科	コチドリ				1										
シギ科	イソシギ	1			7			○	8			2	3	○	
カモメ科	ウミネコ			5	107	○	56	○	8	9					
	セグロカモメ						2					20	7		
	オオセグロカモメ				4				3			2			
	ユリカモメ								44	12	○	52	257	○	
コアジサシ	84	○	279	193	○										
ハト科	キジバト	1	○	3	7	○	3	○	4			2	19		
ヒバリ科	ヒバリ	3		1					2			1			
ツバメ科	ツバメ			2	2	○									
セキレイ科	ハクセキレイ	1		1	2				3		○	9	9	○	
	タヒバリ												2		
ヒヨドリ科	ヒヨドリ				1					19	○	55	55	○	
モズ科	モズ												2		
ヒタキ科 ツグミ亜科	ジョウビタキ										○	2		○	
	イソヒヨドリ								1				1		
	アカハラ												1		
	ツグミ											1	18	○	
ヒタキ科 ウグイス亜科	ウグイス											3	2		
	オオヨシキリ			1					1	○					
セッカ	3		1												
シジュウカラ科	シジュウカラ	13	○	2	1				3			4		○	
メジロ科	メジロ											15	25	○	
ホオジロ科	アオジ											2	3		
アトリ科	カワラヒワ											10			
ハタオリドリ科	スズメ	33	○	32	19	○	6	○	36	6		55	34	○	
ムクドリ科	ムクドリ	12	○	38	48	○*	5	○	13			4	28	○	*タブノキの実を食べていた
カラス科	オナガ			1											
	ハシボソガラス			4*	3	○			2			3	1		*幼鳥含む
	ハシブトガラス	3	○	5	7				○	7		○	9	8	○
その他	ドバト	8	○	3	3		15	○	10	20	○	6	5	○	
確認種数		14	8	20	20	8	11	11	22	12	10	37	38	18	

「東海地区湾岸道路」では、16科26種（ドバトを含む）が確認された。1年を通じて大田区の街中でもみられるスズメ、シジュウカラ、ムクドリ、ハシブトガラス、ドバトが観察され、京浜大橋から見える開水面を中心にカワウ、サギ類、カルガモが観察された。また上空を猛禽類、ツバメ（夏季）が飛行していた。冬には、ヒヨドリが最も多く確認され、ほかにメジロ、運河には冬鳥のカモ類、カモメ類、オオバンが観察された。

「京浜島海岸歩道」では、25科53種（ドバトを含む）が確認された。ここでの記録には運河の水辺の野鳥が多く、カワウ、サギ類が1年を通じて観察されている。特にカワウは9月の調査で908羽がカウントされている。冬にはコガモ、ホシハジロ、スズガモが200羽以上、オオバンが196羽。数は少ないがキンクロハジロをはじめ、カンムリカイツブリ、ハジロカイツブリ、ヒドリガモ、オカヨシガモ、マガモ、オナガガモ、ハシビロガモ、ウミアイサやユリカモメなどカモメ類が確認されている。カルガモ（留鳥）は年間を通じてみられた。猛禽類のミサゴ、トビ、チョウゲンボウ、ハヤブサも秋から冬にかけて観察された。

夏の調査で確認されたこの地域ならではの野鳥にカモメ科のコアジサシがいる。コアジサシは周辺の東京港野鳥公園や大森ふるさとの浜辺公園でもこれまでに確認されているが、観察路から運河を挟んだ対岸の森ヶ崎水再生センター屋上で毎夏、繁殖している。5月から8月に記録され、最も多い時で279羽が観察された。

一方、街中でもみられる野鳥としては1年を通じてスズメ、ムクドリ、キジバト、ハシブトガラス、ドバトが観察された。数は少ないが、ヒバリ、ハクセキレイ、ツバメ、シジュウカラ、オナガ。冬にはヒヨドリ、タヒバリ、モズ、ジョウビタキ、イソヒヨドリ、アカハラ、ツグミ、ウグイス、メジロなど多くの種類が観察された。このように野鳥観察のコースとしては1年を通じて楽しめる。しかし、運河の浅瀬が野鳥の多い理由の一つでもあるため、1日のうちの潮の干満時刻を事前に調べておくことが観察のポイントであることも忘れてはならない。

2. 3. 3 「海と埋立地のみち」調査 <その他>

その他の生き物としては、昆虫類、哺乳類、爬虫類、両生類、陸産貝類について植物、野鳥の専門調査員が同時に調査記録を行った。その結果を表2. 3. 3-1にまとめた。

写真2. 3. 3 大田区自然観察路「海と埋立地のみち」で確認された昆虫や生き物



左：アブラゼミ
右：ミンミンゼミ



チョウトンボ



キマワリ



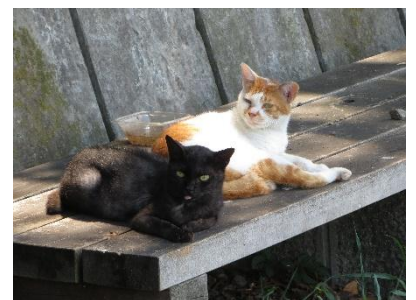
オニグモ



シロテンハナムグリ



ハラビロカマキリ



ネコ

「東海地区湾岸道路」は、昆虫の生息環境である植物の生育部分が乏しいため、植え込みの中や上空を飛ぶ昆虫が30種、クモ類2種が確認された。夏期にセミ類5種、秋期にバッタ、コオロギが4種、トンボを7種記録した。ほかにカナブンやキマワリ（ゴミムシダマシ科）などの甲虫も確認された。冬にはハラビロカマキリの卵塊、イラガのマユが確認された。

「京浜島海岸歩道」は、すでに植物の結果報告でふれたが、東海地区に比べて植生は一見豊かにみえるが、昆虫の確認種数からすると29種とあまり変化はなかった。カマキリの卵塊はハラビロカマキリに加えて、オオカマキリ、チョウセンカマキリの3種が確認された。コオロギもエンマコオロギ、ハラオカメコオロギにツツレサセコオロギ1種が確認された。クモ類はコガネグモがいなくなり、オニグモが確認された。トンボ類は4種に減少した。昆虫の種類が少ない理由の一つとして、海が近く、樹林帯も細長く、広がりがないため昆虫の生息には適さないのかもしれない。

東海地区、海岸歩道の両コースとも今回の調査では、爬虫類、両生類、陸産貝類は確認されなかった。哺乳類についても今回は確認されていないが、数年前の夏の夕暮れ時に、この周辺を歩いているときに複数のアブラコウモリの飛翔を確認している。今回は昼間の時間帯の調査であったが、周辺に水辺環境や倉庫などねぐらになるような環境があるため、コウモリなど哺乳類調査についての今後の課題としておきたい。

2. 3. 4 「海と埋立地のみち」の生物・植物について

本調査の結果を改めて総合的に検討してみると、「東海地区湾岸道路」コースの樹木は、シダレヤナギ、ホルトノキ、オオムラサキツツジなど街路樹約7種のほかに35種の樹木が確認された。植物はヘクソカズラ、ヤブカラシなどがフェンスなどに絡み、地面にはヘラオオバコ、ヨモギなどが確認された。そして外来種のセイタカアワダチソウなどが目立って生育している。その種類は58種が記録されているが、特に注目すべき植物はみられなかった。

野鳥については26種が確認されているが、京浜大橋から運河で観察された水鳥を除くと、ほとんどが上空を通過したもので身近にみられる種類数、個体数ともに少ない。

昆虫については、東京港野鳥公園内に生息しているセミ類の鳴き声が夏によく聴かれ、秋にはコオロギなどの鳴き声が聴かれた。また、夏から秋にかけて7種のトンボが確認できた。これも近くの野鳥公園内に池がある影響だろう。街路の花には、甲虫類やハチ類が集まり、クモ類も比較的よくみられた。

それに比べて「京浜島海岸歩道」コースは全体が遊歩道である影響もあって、マテバシイ、アラカシ、スタジイ、ツバキ、モッコクなど常緑高木、トウネズミモチ、サンゴジュ、シャリンバイなど中低木が陸側に密度高く自生しており、その根元周辺には植物もよく茂っている。ツタやセイヨウタンポポ、セイタカアワダチソウなどの園芸種や外来種も多くみられるが、クズ、ハマオモト、ヒガンバナ、ツワブキなどが季節に合わせて開花しているため、花を楽しみながらの散策ができる。今回の調査では樹木67種、植物74種が確認された。

野鳥は53種が確認されており、6割近くが運河の水鳥やその上空を飛行する猛禽類で占められている。また、ここには森ヶ崎の鼻と呼ばれる浅瀬があり、季節や潮の干満によって観察できる野鳥が変化するので、野鳥観察の際には事前に潮汐時刻を調べておく必要がある。夏のコアジサシは、繁殖期でもあり、盛んに小魚をとる様子が観察できた。また冬にはカモ類やカモメ類の種類も多く、カイツブリの仲間も身近に観察することができた。

昆虫は、夏から秋にセミ類、トンボ類、コオロギなどが確認された。また、1年を通じて花を咲かせている植物があるため、その蜜や花粉を求めて甲虫類やハチ類が集まっていた。今回、ツバキにチャドクガの幼虫が多数いたという報告もあり、毒虫に対する注意が必要である。

2. 4 「ブルートライアングルプロジェクト」調査結果

「ブルートライアングルプロジェクト」は、アゲハチョウの仲間に身近に触れ合える自然環境づくりを目的とする大田区独自のプロジェクトで、本調査においては自然観察路「海と埋立地のみち」を含む湾岸地域におけるアオスジアゲハなどアゲハチョウ類の生息調査を実施した。

調査ポイントは、「海と埋立地のみち」のほかに7つのポイントを指定し、それぞれ7回またはそれ以上の回数の調査を行った。



アオスジアゲハ



クロアゲハ



ベニシジミ

2. 4. 1 「ブルートライアングルプロジェクト」調査

<調査ポイント別調査>

今回、8か所の調査ポイントで生息が確認されたアゲハチョウ類およびチョウ類の一覧を表2.4.1-1にまとめた。

それぞれの調査ポイントで確認されたアゲハチョウ類は、8種類の平和の森公園、次いで6種類（海と埋立地のみち）、5種類（大森ふるさとの浜辺公園）が各1か所、4種類が2か所（東京港野鳥公園、大森南圃場及び周辺。大森南圃場については定点調査を含む）、2種類（都立昭和島北緑道公園）が1か所、そして大田スタジアム周辺がアオスジアゲハのみの1種類が確認された。あさひ海老取川公園ではアゲハチョウ類は確認できなかった。

アゲハチョウの種類別で確認状況を見てみると、アオスジアゲハが7か所、ナミアゲハ（アゲハ）が6か所で確認された。クロアゲハ、カラスアゲハがそれぞれ4か所、キアゲハは3か所、オネガアゲハ、ナガサキアゲハ、ジャコウアゲハはそれぞれ2か所で確認された。今回モンキアゲハは確認されなかった。

表2.4.1-1 2015年度 大田区アゲハチョウ調査 生息確認ポイント一覧

調査ポイント		①海と埋立地のみち	②東京港野鳥公園	③大田スタジアム周辺	④平和の森公園	⑤大森ふるさとの浜辺公園	⑥都立昭和島北緑道公園	⑦大森南圃場および周辺	⑧あさひ海老取川公園	生息確認場所数
アゲハチョウ科	アオシジメ	○	○	○	○	○	○	○		7
	ナミアゲハ(アゲハ)	○	○		○	○	○	○		6
	キアゲハ				○	○		○		3
	クロアゲハ	○			○	○		○定点		4
	オナガアゲハ				○			○定点		2
	モンキアゲハ									0
	カラスアゲハ	○			○	○		○定点		4
	ナガサキアゲハ				○			○定点		2
	ジャコウアゲハ	○	○							2
	アゲハ類不明	○	○		○					3
シロチョウ科	モンシロチョウ	○	○		○	○	○	○		6
	キタキチョウ		○	○						2
	ツマグロキチョウ					○				1
シジミチョウ科	ヤマトシジミ	○	○	○	○		○	○	○	7
	ルリシジミ			○						1
	ムラサキシジミ	○								1
	ベニシジミ	○								1
	ムラサキツバメ	○								1
	シジミチョウ類不明	○								1
タテハチョウ科	キタテハ							○		1
	ツマグロヒョウモン	○			○					2
	ゴマダラチョウ	○	○	○						3
	アカボシゴマダラ	○	○	○						3
	サトキマダラヒカゲ		○		○					2
	ジャノメチョウ				○					1
	ヒメジャノメ								○	1
セセリチョウ科	イチモンジセセリ	○	○		○		○		○	5
	チャバネセセリ								○	1
	セセリチョウ類不明	○								1
マダラガ科	ホタルガ	○								1
スズメガ科	ホシホウジャク	○								1
生息確認種類数		19	11	6	14	7	5	10	4	
そのうち、アゲハチョウ類確認数		6	4	1	8	5	2	4	0	

次にそれぞれの調査ポイントの調査結果について表 2.4.1-2~9 で考察する。

「平和の森公園」は、アオスジアゲハ（幼虫）の食草であるクスノキ科、ナミアゲハ、キアゲハやクロアゲハなどの食草のミカン科やセリ科の植物が公園内に多く植えられているため、アゲハチョウ類が多いものと考えられる。花卉類も多いことから幼虫、成虫ともに生息しやすい環境が整えられている。また、比較的明るい並木や薄暗い林もあり、暗い環境を好むアゲハチョウ類にもよい環境を提供している。成虫のえさとなる蜜を提供する花卉類は、花壇に植栽されたものが多く、他のチョウ類の集まる場所にもなっている。コナラの樹液にもチョウ類、甲虫類などが集まっているのが確認された。

「海と埋立地のみち」は、クスノキ科の樹木が多く、アオスジアゲハの確認个体数が最多となっている。また、ここと隣接する東京港野鳥公園でのみジャコウアゲハが確認されている。平和の森公園のように人工的な花壇はないが、1年を通じて何らかの花が咲いているせいか、確認されたチョウ類の数も19種類を記録している。ヤブカラシ、タンポポでの吸蜜も多くみられた。

「東京港野鳥公園」で確認されたアゲハチョウ類の数は少ないが、クスノキにアオスジアゲハの産卵が複数回確認された。ここも比較的多様性に富んだ自然環境が保全されているため、今回の調査では11種類が確認された。

「大森南圃場および周辺」では、そのほとんどのチョウ類が圃場内で確認された。特にミカン科の植物が多く、定点調査ではナミアゲハの記録が多い。アオスジアゲハについては、周辺街路樹のクスノキを食草とし、圃場へは吸蜜のために集まってきているものと考えられる。ほかのチョウ類について確認された種類は少ない。

「大森ふるさとの浜辺公園」と「大田スタジアム周辺」は、どちらもクスノキが多いという共通点がある。ふるさとの浜辺公園には約270本のクスノキ並木があり、大田スタジアム北側にはクスノキ広場と呼ばれるクスノキの群落がある。確認されたアオスジアゲハの生息状況には違いがみられた。ふるさとの浜辺公園のアオスジアゲハはそのほとんどがクスノキ並木の上空を飛翔していた個体で、産卵の可能性もあるが、東京港野鳥公園のように産卵の確認はされていない。クスノキ並木の間隔が狭く、地上からかなりの高さまで剪定されていて、樹冠に広がりがない。海からの潮風もあり、チョウ類には不適な環境と考えられる。かろうじて周辺の芝生にタンポポが咲いていたり、コスモスの花壇などが作られているためモンシロチョウやアベリアに吸蜜するアゲハチョウ類が確認された。一方、大田スタジアム周辺でのアゲハチョウ類は、アオスジアゲハのみ確認できた。ここにはアオスジアゲハの食草であるクスノキの間隔が広く、樹冠も大きく広がっていて、クスノキらしい樹形をしている。また、成虫のえさとなる花卉類は、スタジアムの周囲を囲むプランターの花ではなく、せせらぎの森のフェンスに絡まるヤブカラシ、アベリアなど草木の花で、ほか

にも多くの昆虫が集まっていた。

「都立昭和島北緑道公園」は、その大部分が芝生で、周囲を囲むようにして植えられたクスノキ、クロマツ、ケヤキなどは大木が多い。アオスジアゲハとナミアゲハが確認され、ナミアゲハは幼虫も確認できた。

「あさひ海老取川公園」は、今回の調査ポイントのなかで唯一、アゲハチョウ類が確認されなかった場所である。この公園は隣接する大型物流センターの建設に伴って新設されたもので、クスノキもなく、歩道にはソメイヨシノ、園内歩道にはヤマモモが植えられている。さほど広くない園内は芝生の広場になっていて、チョウ類の食草などもほとんどない。

表2. 4. 1-2 2015年度 大田区アゲハチョウ調査 集計表

①海と埋立地のみち

調査月		5月		6月	7月			8月			9月	10月	11月		1月	
調査日		28日	31日	16日	12日	18日	25日	15日	23日	27日	19日	24日	19日	24日	21日	25日
天 候		晴	晴	曇	曇・晴	曇・晴	曇	晴	晴	晴	晴	晴	晴	曇・晴	晴・曇	晴
調査員		小野	鈴木	川沢大塚	鈴木	川沢大塚	鈴木	小野	鈴木	鈴木	川沢大塚	小野	鈴木	川沢大塚	川沢大塚	鈴木
アゲハチョウ科	アオスジアゲハ		4	31	4	21	1*	9	12*	7	21	1				
	ナミアゲハ(アゲハ)		3		3	1	1		1							
	キアゲハ															
	クロアゲハ					2			1							
	オナガアゲハ															
	モンキアゲハ															
	カラスアゲハ							1								
	ナガサキアゲハ															
	ジャコウアゲハ									1	1					
	アゲハ類不明				1				1							
シロチョウ科	モンシロチョウ	4	2									1		1		
	キタキチョウ															
	ツマグロキチョウ															
シジミチョウ科	ヤマトシジミ	1		1							3	1		3		
	ルリシジミ															
	ムラサキシジミ												1			
	ベニシジミ		1									2				
	ムラサキツバメ														1	
	シジミチョウ類不明		1							1						
タテハチョウ科	キタテハ															
	ツマグロヒョウモン													2		
	ゴマダラチョウ					1										
	アカボシゴマダラ					2			2		2					
	サトキマダラヒカゲ															
	ジャノメチョウ															
	ヒメジャノメ															
セセリチョウ科	イチモンジセセリ									1	6					
	チャバネセセリ															
	セセリチョウ類不明									1			1			
マダラガ科	ホタルガ			1												
スズメガ科	ホシホウジャク												1*			
備 考(*印説明)					沿道のみ		京浜島のみ ヤブカラシ、クズで 吸蜜		京浜島のみ ヤブカラシ で吸蜜	沿道のみ			ヘクソカズ ラに産卵		記録なし	記録なし

表2. 4. 1-3 2015年度 大田区アゲハチョウ調査 集計表

②東京港野鳥公園

調査月		5月		7月	8月		9月	10月
調査日		28日	31日	12日	15日	23日	21日	24日
天 候		晴	晴	曇・晴	晴	曇・晴	晴・曇	晴
調査員		小野	鈴木	鈴木	小野	鈴木	鈴木	小野
アゲハチョウ科	アオスジアゲハ	6*	5	1*	9*	6*	7*	1
	ナミアゲハ(アゲハ)			1	3*		1	
	キアゲハ							
	クロアゲハ							
	オナガアゲハ							
	モンキアゲハ							
	カラスアゲハ							
	ナガサキアゲハ							
	ジャコウアゲハ		1*					
	アゲハ類不明			3				
シロチョウ科	モンシロチョウ	1	12		1			3
	キタキチョウ							2
	ツマグロキチョウ							
シジミチョウ科	ヤマトシジミ	1						3
	ルリシジミ							
	ムラサキシジミ							
	ベニシジミ							
	ムラサキツバメ							
	シジミチョウ類不明							
タテハチョウ科	キタテハ							
	ツマグロヒョウモン							
	ゴマダラチョウ			4				
	アカボシゴマダラ					3		
	サトキマダラヒカゲ				1			
	ジャノメチョウ							
	ヒメジャノメ							
セセリチョウ科	イチモンジセセリ	1						
	チャバネセセリ							
	セセリチョウ類不明							
マダラガ科	ホタルガ							
スズメガ科	ホシホウジャク							
備 考(*印説明)		クスノキに産卵周辺2含む	ネイチャーセンターの情報	クスノキに産卵	ヤブカラシに集まる	ヤブカラシに集まる	クスノキに産卵	

表2. 4. 1-4 2015年度 大田区アゲハチョウ調査 集計表

③大田スタジアム周辺

調査月		5月		7月	8月		9月	10月
調査日		28日	31日	21日	15日	19日	21日	24日
天 候		晴	晴	晴	晴	晴	晴・曇	晴
調査員		小野	鈴木	鈴木	小野	鈴木	鈴木	小野
アゲハチョウ科	アオスジアゲハ	2*	1*	4	6	1	5	
	ナミアゲハ(アゲハ)							
	キアゲハ							
	クロアゲハ							
	オナガアゲハ							
	モンキアゲハ							
	カラスアゲハ							
	ナガサキアゲハ							
	ジャコウアゲハ							
	アゲハ類不明							
シロチョウ科	モンシロチョウ							
	キタキチョウ							1*
	ツマグロキチョウ							
シジミチョウ科	ヤマトシジミ							3
	ルリシジミ							1
	ムラサキシジミ							
	ベニシジミ							
	ムラサキツバメ							
	シジミチョウ類不明							
タテハチョウ科	キタテハ							
	ツマグロヒョウモン							
	ゴマダラチョウ			1				
	アカボシゴマダラ						1	
	サトキマダラヒカゲ							
	ジャノメチョウ							
	ヒメジャノメ							
セセリチョウ科	イチモンジセセリ							
	チャバネセセリ							
	セセリチョウ類不明							
マダラガ科	ホタルガ							
スズメガ科	ホシホウジャク							
備 考 (*印説明)		調査地域外周辺での記録	調査地域外周辺での記録					調査地域外周辺での記録

表2. 4. 1-5 2015年度 大田区アゲハチョウ調査 集計表

④平和の森公園

調査月		5月		7月		8月		9月		10月
調査日		28日	31日	12日	21日	15日	19日	21日	27日	24日
天 候		晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴・曇	曇	晴
調査員		小野	鈴木	区民	鈴木	小野	鈴木	鈴木	区民	小野
アゲハ ハチ ヨウ科	アオスジアゲハ	1		1	4		1	2		
	ナミアゲハ(アゲハ)	2			3		1		確認	
	キアゲハ			1			1		確認	
	クロアゲハ					1			確認	
	オナガアゲハ			1		1				
	モンキアゲハ									
	カラスアゲハ	1								
	ナガサキアゲハ						1			
	ジャコウアゲハ									
	アゲハ類不明				2					
シロ チ ヨウ科	モンシロチョウ	2	4					1		1
	キタキチョウ									
	ツマグロキチョウ									
シジミ チ ヨウ科	ヤマトシジミ							1	確認	
	ルリシジミ									
	ムラサキシジミ									
	ベニシジミ									
	ムラサキツバメ									
	シジミチョウ類不明									
タテ ハ チ ヨウ科	キタテハ									
	ツマグロヒョウモン								確認	
	ゴマダラチョウ									
	アカボシゴマダラ									
	サトキマダラヒカゲ					2*				
	ジャノメチョウ		1*				1			
	ヒメジャノメ									
セセリ チ ヨウ科	イチモンジセセリ							1	確認	
	チャバナセセリ									
	セセリチョウ類不明									
マダラガ科	ホタルガ									
スズメガ科	ホシホウジャク									
備 考(*印説明)			コナラ樹液 に集まる			コナラ樹液 に集まる			カウントな し	

表2. 4. 1-6 2015年度 大田区アゲハチョウ調査 集計表

⑤大森ふるさとの浜辺公園

調査月		5月			7月		8月		9月	10月
調査日		20日	28日	31日	12日	21日	15日	19日	21日	24日
天候		晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴・曇	晴
調査員		大森四小 児童	小野	鈴木	区民	鈴木	小野	鈴木	鈴木	小野
アゲハ チョウ科	アオスジアゲハ	1			2	3	3	1	1	
	ナミアゲハ(アゲハ)						1	1		
	キアゲハ	1			1					
	クロアゲハ			1						
	オナガアゲハ									
	モンキアゲハ									
	カラスアゲハ					1				
	ナガサキアゲハ									
	ジャコウアゲハ									
	アゲハ類不明									
シロ チョウ科	モンシロチョウ	15								4
	キタキチョウ									
	ツマグロキチョウ			2				1		
シジミ チョウ科	ヤマトシジミ									
	ルリシジミ									
	ムラサキシジミ									
	ベニシジミ									
	ムラサキツバメ									
	シジミチョウ類不明									
タテ ハチョウ科	キタテハ									
	ツマグロヒョウモン									
	ゴマダラチョウ									
	アカボシゴマダラ									
	サトキマダラヒカゲ									
	ジャノメチョウ									
	ヒメジャノメ									
セセリ チョウ科	イチモンジセセリ									
	チャバネセセリ									
	セセリチョウ類不明									
マダラガ科	ホタルガ									
スズメガ科	ホシホウジャク									
備考(*印説明)			記録なし			アベリア、 タンポポに 集まる	アベリアに 集まる		北側フェ ンスのク ズに集まる	タンポポに 集まる

表2. 4. 1-7 2015年度 大田区アゲハチョウ調査 集計表

⑥都立昭和島北緑道公園

調査月		5月		7月	8月		9月	10月
調査日		30日	31日	12日	15日	19日	21日	24日
天 候		晴	晴	曇・晴	晴	晴	晴・曇	晴
調査員		小野	鈴木	鈴木	小野	鈴木	鈴木	小野
アゲハチョウ科	アオスジアゲハ	2*		3	4*	3	1	
	ナミアゲハ(アゲハ)		幼虫1		1*	1		
	キアゲハ							
	クロアゲハ							
	オナガアゲハ							
	モンキアゲハ							
	カラスアゲハ							
	ナガサキアゲハ							
	ジャコウアゲハ							
	アゲハ類不明							
シロチョウ科	モンシロチョウ							1
	キタキチョウ							
	ツマグロキチョウ							
シジミチョウ科	ヤマトシジミ						3	1
	ルリシジミ							
	ムラサキシジミ							
	ベニシジミ							
	ムラサキツバメ							
	シジミチョウ類不明							
タテハチョウ科	キタテハ							
	ツマグロヒョウモン							
	ゴマダラチョウ							
	アカボシゴマダラ							
	サトキマダラヒカゲ							
	ジャノメチョウ							
	ヒメジャノメ							
セセリチョウ科	イチモンジセセリ						3	
	チャバネセセリ							
	セセリチョウ類不明							
マダラガ科	ホタルガ							
スズメガ科	ホシホウジャク							
備 考 (*印説明)		調査地域外周辺での記録			調査地域外周辺での記録		クズに集まる	

表2. 4. 1-8 2015年度 大田区アゲハチョウ調査 集計表

⑦大森南圃場および周辺

調査月		5月		6月	7月	8月		9月		10月
調査日		30日	31日	1日	21日	15日	19日	21日	22日	24日
天候		晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴・曇	晴	晴
調査員		小野	鈴木	鈴木	鈴木	小野	鈴木	鈴木	鈴木	小野
アゲハチョウ科	アオスジアゲハ		1	4	4	2	2			
	ナミアゲハ(アゲハ)	3			2	1	1		3	
	キアゲハ	1								
	クロアゲハ									
	オナガアゲハ									
	モンキアゲハ									
	カラスアゲハ									
	ナガサキアゲハ									
	ジャコウアゲハ									
	アゲハ類不明									
シロチョウ科	モンシロチョウ	4		4						1
	キタキチョウ									
	ツマグロキチョウ									
シジミチョウ科	ヤマトシジミ			1						
	ルリシジミ									
	ムラサキシジミ									
	ベニシジミ									
	ムラサキツバメ									
	シジミチョウ類不明									
タテハチョウ科	キタテハ									1
	ツマグロヒョウモン									
	ゴマダラチョウ									
	アカボシゴマダラ									
	サトキマダラヒカゲ									
	ジャノメチョウ									
	ヒメジャノメ									
セセリチョウ科	イチモンジセセリ									
	チャバネセセリ									
	セセリチョウ類不明									
マダラガ科	ホタルガ									
スズメガ科	ホシホウジャク									
備考(*印説明)			周辺のみ	圃場のみ				周辺のみ 記録なし	圃場のみ	

表2. 4. 1-9 2015年度 大田区アゲハチョウ調査 集計表

⑧あさひ海老取川公園

調査月		5月		7月	8月		9月	10月
調査日		28日	31日	21日	15日	19日	21日	24日
天 候		晴	晴	晴	晴	晴	晴・曇	晴
調査員		小野	鈴木	鈴木	小野	鈴木	鈴木	小野
アゲハチョウ科	アオスジアゲハ							
	ナミアゲハ(アゲハ)							
	キアゲハ							
	クロアゲハ							
	オナガアゲハ							
	モンキアゲハ							
	カラスアゲハ							
	ナガサキアゲハ							
	ジャコウアゲハ							
	アゲハ類不明							
シロチョウ科	モンシロチョウ							
	キタキチョウ							
	ツマグロキチョウ							
シジミチョウ科	ヤマトシジミ							3
	ルリシジミ							
	ムラサキシジミ							
	ベニシジミ							
	ムラサキツバメ							
	シジミチョウ類不明							
タテハチョウ科	キタテハ							
	ツマグロヒョウモン							
	ゴマダラチョウ							
	アカボシゴマダラ							
	サトキマダラヒカゲ							
	ジャノメチョウ							
	ヒメジャノメ							1
セセリチョウ科	イチモンジセセリ							1
	チャバナセセリ				1			
	セセリチョウ類不明							
マダラガ科	ホタルガ							
スズメガ科	ホシホウジャク							
備 考 (* 印説明)		記録なし	記録なし	記録なし		記録なし	記録なし	

2. 4. 2 「ブルートライアングルプロジェクト」調査

<定点調査>

本調査の調査ポイントのうち、「平和の森公園」と「大森南圃場」について定点調査を実施し、調査報告を表 2. 4. 2-1~2 にまとめた。

定点調査は、1日につき8時から17時までを2時間区切りで確認記録し、その数の合計を1日の確認数として集計しているので同一個体を重複カウントした可能性があることを断っておく。

「平和の森公園」では、アオスジアゲハ、ナミアゲハ、キアゲハ、クロアゲハの4種類が定点調査で確認されているが、その数は2種4個体（6月16日）と決して多くはない。

「大森南圃場」はミカン科の食草が多いため、ナミアゲハやクロアゲハがよく観察された。また、花卉類も多いため、常時キアゲハやアオスジアゲハなども吸蜜のために集まっていた。

表2. 4. 2-1 2015年度 大田区アゲハチョウ調査 定点調査集計表 < ④平和の森公園 >

調査月	5月					6月					7月					8月
	22日	26日	2日	13日	16日	23日	25日	28日	30日	1日	7日	11日	19日	20日	25日	3日
アオスジアゲハ		2	1		3		1		1			2		1	1	1
ナミアゲハ(アゲハ)				1	1	1		1								
キアゲハ							1						1		1	
クロアゲハ	1					1	1			1	1	1		1	1	
オナガアゲハ																
モンキアゲハ																
カラスアゲハ																
ナガサキアゲハ																
確認種数	1	1	1	1	2	2	3	1	2	1	1	2	1	2	3	1

2. 5 協働調査 調査結果

この本調査全体は、2000年実施の区民参加による「身近な生き物調査」がベースになっており、①身近に観察できる生き物を②身近に観察（調査）することを中心に実施されている。これまでに身近な生き物を対象とした区民協働調査（2011年セミ、2013年コオロギ）が行われ、2014年からは大田区自然観察路を対象とした大田区の自然豊かな地域についての協働調査（2014年池上本門寺周辺「縄文のみち」）を実施している。協働調査の特徴の一つが一般区民の参加による調査であるが、区広報などを通じて、区民に気軽な参加を呼びかけている。

第1回 区民協働調査

日 時：2015年5月20日（水）9：40～12：20

天 候：晴

場 所：大森ふるさとの浜辺公園

参加者：大森第四小学校4年生95名、引率者4名

保護者8名、海苔のふるさと館スタッフ4名

実施状況：4年生が14グループになり、観察対象4テーマのうちの一つに虫・草があり、その中でブルートライアングルプロジェクトの説明を行い、アゲハチョウなど見つけたチョウ記録した。

第2回 区民協働調査

日 時：2015年7月12日（日）10：00～12：30

天 候：晴

場 所：大森ふるさとの浜辺公園

平和の森公園（環状7号線南側）

参加者：一般募集による区民22名

実施状況：大森 海苔のふるさと館集合。配布した資料（アゲハチョウ、セミのぬけがらなどの見分け方、調査用紙など）説明の後、はじめにふるさとの浜辺公園での調査観察、次に平和の森公園に移動して調査を行った。

昨年の「縄文のみち」協働調査でも親子の参加が多く、大人は子どもの学習の機会と考えているようだが、身近な生き物への知識は子どもと大差がなく、むしろ関心は大人のほうがあるように感じられる。本調査の趣旨である協働調査の区民への普及啓発という目的にはかなうものであり、成果は上げていると考えられる



写真 2.5-2 参加者への室内説明、野外観察調査、テレビ取材風景

第3回 区民協働調査

日 時：2015年9月27日（日）10：00～12：30

天 候：曇

場 所：平和の森公園（環状7号線南側）

参加者：一般募集による区民24名

実施状況：大森 海苔のふるさと館集合。時期的にチョウ類の観察時期としてはやや遅いため、今回は講師に「蝶の道プロジェクト」代表の南孝彦氏を講師に招いて、生態系の中におけるチョウの役割や身近なチョウの種類や見分け方、生活の様子などをプロジェクターを使いながら話してもらった。また秋以降もみられるチョウや冬の越しかたなど多岐にわたるチョウの話に参加者も熱心に耳を傾けていた。

調査観察は、海苔のふるさと館からふるさと館北側の平和の森公園で行った。公園南側では主にセミのぬけがら、コオロギなどを探し、飛来したチョウについては講師から解説をしてもらった。環状7号線を越え、本来の調査ポイントである公園北側の平和の広場まで足を延ばしての調査となった。



写真 2.5-3 講師による解説、野外調査風景、記念撮影

大田区自然観察路「海と埋立地のみち」の生物・植物についての区民協働調査
および『ブルートライアングルプロジェクト』アゲハチョウ調査
実施報告書

平成27年3月

大田区環境計画課環境・地球温暖化対策課

〒144-8621 東京都大田区蒲田5-13-14

請負者 一般社団法人 地域パートナーシップ支援センター

〒146-0093 東京都大田区矢口1-21-6
